

Boxの利用者様必見

「資料が見つからない」
「全文検索でヒットしない」
「検索が遅い」

HOW TO SOLVE PRODUCTIVITY-BLOCKING CHALLENGES

生産性を阻害する課題を
解決する方法とは

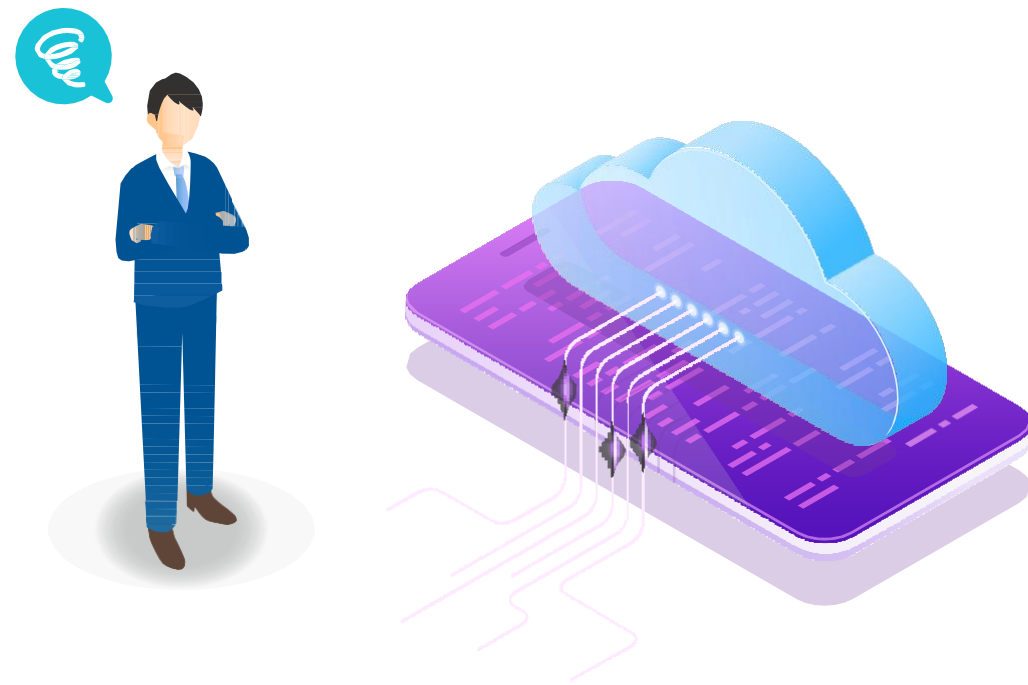


多くの支持を集めるクラウドストレージサービス「Box」

現代では非常に多くのクラウドストレージサービスが提供されていますが、その中でも特に支持を集めているサービスに「Box」があります。

クラウドストレージの黎明期からサービスを立ち上げており、ビジネス用途として必要な機能を備えているため、利用している企業様も多いのではないのでしょうか。

このままでも非常に便利なBoxですが、全てのニーズに対応できていたわけではありません。日常的に利用するストレージだからこそ、些細な不便が業務効率を落としてしまうケースも存在します。



当資料では

- ✓ Boxの利便性を活かしながら、
利用者が感じる弱点を克服する方法 をご紹介します

目次 //

- P002 多くの支持を集めるクラウドストレージサービス「Box」
- P003 一般的なBoxの活用シーン
- P004 クラウドストレージである故の課題
- P005 全文検索1万バイトの壁
- P006 ファイルを整理すれば解決できる？
- P007 課題を解決する検索エンジンの4つの条件
- P008 Neuron ESによる検索性能の向上
- P009 さらなる生産性向上を狙える機能
- P010 クイックに導入可能！無償版もお試ください！

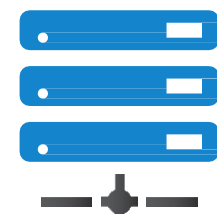
一般的なBoxの活用シーン

Boxにはビジネス環境で利用しやすい特徴が多数あります。
そのなかでも、「**ファイル容量**」「**ファイル共有**」「**API連携**」の3つが代表的と言えるでしょう。

Boxの強み

ファイル容量

特定のプラン以上は容量無制限



「容量以内にデータを抑える」
作業が不要

ファイル共有

詳細な権限設定やファイル共有用機能



共有リンクの作成や有効期限、
パスワードの付与

API連携

外部サービスや社内システムと
柔軟に連携



プログラマブルにBoxの機能を
活用可能

POINT > 業務上必要となる機能が揃っており、**使い方によってコストメリットも生み出せる**点はBoxの大きな魅力です。

クラウドストレージである故の課題

前述したBoxの特徴は、オンプレミスのファイルサーバと比較しても利便性が高くなる要素です。
しかし、これまでの**ファイルサーバの方が使いやすい**という意見もあります。

クラウドストレージの課題

01 検索性能の不足

検索オプションが足りない…

検索速度が遅い…



02 保存場所の分散

どこに保存されているのかわからない…

同じファイルが複数の場所に存在する…



03 利用状況の把握

作成した資料は活用されているのか…

活用されず、単なるファイル置き場に…

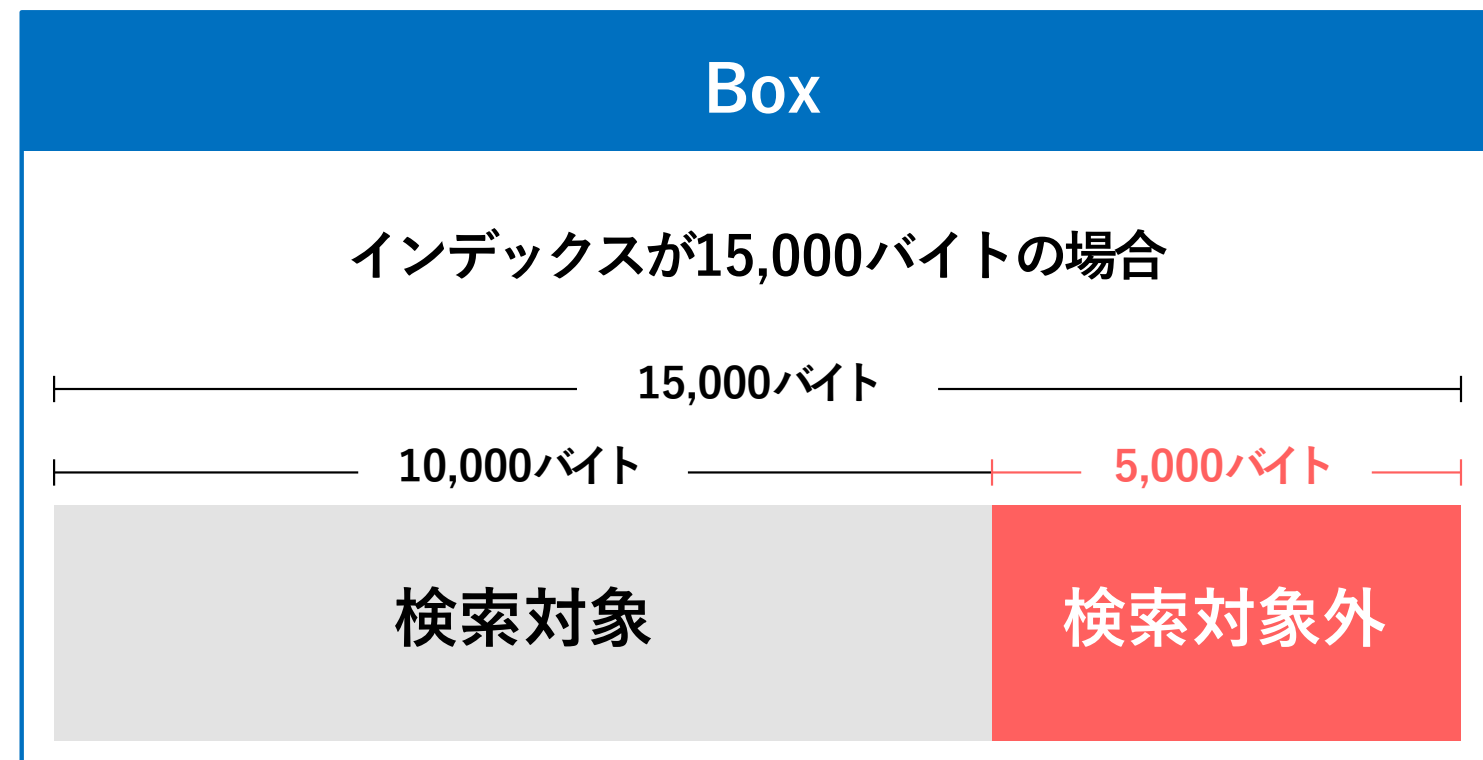


POINT > データを見つけ出すことに余計なリソースが割かれ、**企業全体の生産性に悪影響**が出る場合があります。

全文検索1万バイトの壁

Boxは全文検索に対応しておらず、検索を行うインデックス情報は1万バイトまでしか含まれません。

インデックス上限1万バイトの壁



全文検索すると...



インデックスとは？

効率的な検索をするために作成される索引のようなデータです。ファイル名や作成日時などのメタ情報、ファイル内の文字列を構造化し、検索速度を向上させることができます。



1万バイトはどのくらい？

「バイト」とは、コンピュータ上のデータサイズを表す単位です。コンピュータが表現する一般的な文字列は、1文字あたり半角文字は1バイト、全角文字は2バイトのサイズを持ちます。

- ・英数字等の1バイト文字 約10,000文字
- ・日本語等の2バイト文字 約5,000文字

POINT > 存在するファイルが検索結果に表示されないことは、**資産の活用を阻害し、業務効率を下げってしまう原因**になるのではないのでしょうか。

ファイルを整理すれば解決できる？

データの分散や検索に関する問題であれば、「**ファイルを整理して、そもそも探す必要がなくなればよいのでは？**」と考えることは自然な解決案です。一貫したルールのもと、データが**整理整頓**されていれば目的のデータを探しやすくなるでしょう。



しかし、この方法で解決することはほとんどのケースで困難です。

ファイルの整理ではうまくいかないのはなぜ？

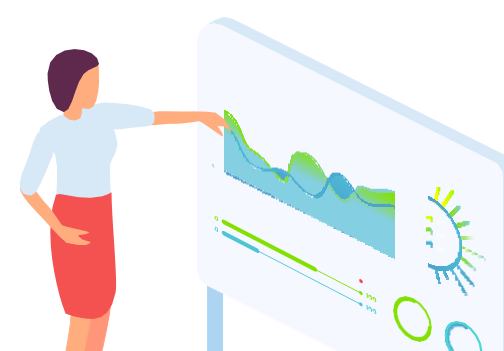
01 分類方法検討

部門単位？ クライアント単位？
プロジェクト単位？ 文書の種類？



02 ルールの周知

保存場所は～ 請求書関連は～
フォルダ構成は～ 機密情報は～



03 整理実施

大量のファイルを移動
誤削除に細心の注意
整理中にファイルが更新された…



04 運用

どこに保存すればいいんだっけ？
あるはずのファイルがない…



POINT >

ファイルの整理では実用性に欠けるほか、厳格すぎるルールは利用者側の周知・徹底も難しくなります。作成場所や保存場所を**間違えるだけで、運用が破綻**してしまいます。

課題を解決する検索エンジンの4つの条件

テレワークやクラウドサービスの活用、セキュリティ対策など、現代のビジネス環境にはクラウドストレージを活用するメリットが多くあります。しかし、メリットと同時に前述のとおりクラウドストレージやBox特有の課題も存在します。



この状況を
解決するためには

複数の環境に散らばる企業のデータをいかに効率的に検索するかが重要です

課題を解決する検索エンジンの4つの条件



検索性能やオプションの不足



1

高性能でオプションが豊富な検索システム

データ保存場所の分散



2

分散した保存場所に対する横断的な検索

利用状況の把握



3

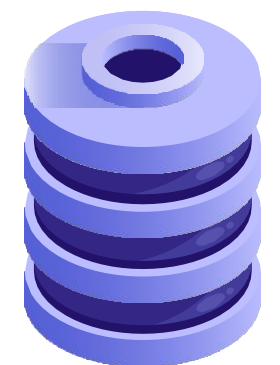
従業員のデータ検索や閲覧情報を収集し、レポートニング

全文検索の上限



4

上限のない検索の仕組み



POINT > 検索エンジンに十分な性能・機能を持たせることで、多くの課題をまとめて解決することができます。

Neuron ESによる検索性能の向上

エンタープライズサーチであるNeuron ESは、課題解決に必要な機能を多数搭載しています。
膨大なデータをフル活用するために、データの保存場所に依存せず、欲しい情報がすぐに見つかる環境を実現します。

01 検索オプション

場所やファイル種別、更新日など豊富な検索オプションを用意。絞り込み検索やBoxのメタ情報にも対応！

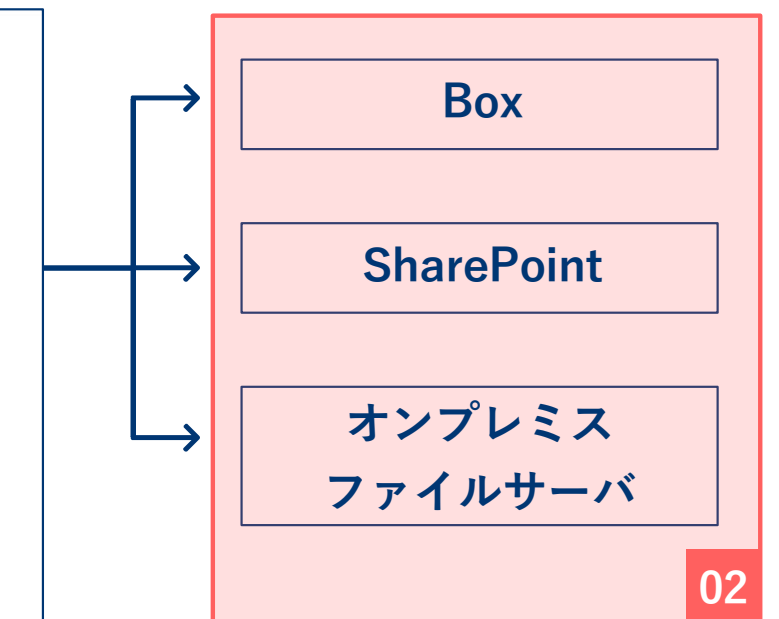
02 横断検索

Boxだけではなく、SharePointやファイルサーバもまとめて検索。利用者はNeuron ESから検索するだけでOK！

03 全文検索

サイズ無制限の全文検索を実現。
「検索にヒットしなければデータは無い」と諦められる！

The screenshot displays the Neuron ES search interface. On the left, a sidebar (01) lists search options such as '取得元' (Source) with folders like 'ファイルサーバ (8649)', '東京支店 (6253)', and '大阪支店 (2396)', and 'ファイル種別' (File Type) with options like 'Archive (40)', 'CAD (0)', 'Excel (819)', etc. The main area shows search results for the keyword 'neuron 選ばれる理由.pptx' (03), including a snippet of the document content and a thumbnail. The interface also shows search filters like '条件' (Conditions) and '表示順' (Sort Order).



増加し続けたデータの保存場所が分散されている現代において、
人間がどのようにデータへアクセスするのか？という課題は多くの企業が抱えています。

POINT > エンタープライズサーチは、これまで解決が困難であった問題をシンプルに解決するアプローチであると言えます。

さらなる生産性向上を狙える機能

先に紹介した充実した検索機能に加えて、**企業全体の生産性を底上げするベネフィットも見込めます。**

01 関連情報の表示

キーワードに関連する情報を表示し、思わぬ追加情報を得られる可能性があります。

02 関係者の表示

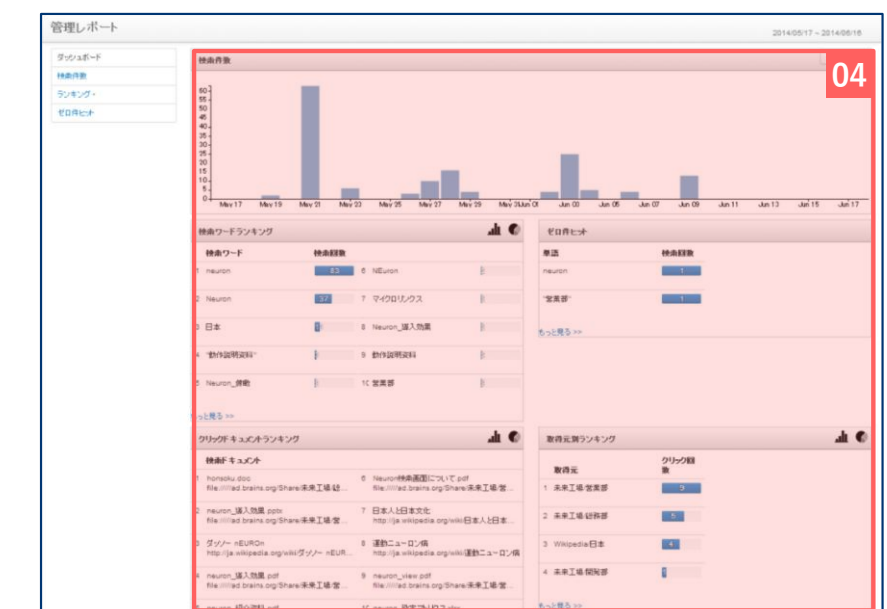
ファイルの作成に携わった人物の氏名が表示され、有識者が一目でわかります。

03 分かりやすいインターフェース

一般的な検索サービスのようなインターフェースで、使い方がすぐにわかります。使いこなすためのハードルが大きく下がり、活用率向上を見込めます。

04 活用を促進するレポート機能

管理者はレポートを確認し、需要の高いデータや不足している情報を把握することができます。これにより、企業のデータ活用を促進するためのアクションを取ることが可能となります。



POINT > 検索条件にマッチするデータが確実に表示されることは、検索システムとして必須の機能です。Neuron ESは、**利用者自身も意識していなかった情報を提供します。**

クイックに導入可能！無償版もお試しく下さい！

クラウドストレージの活用が一般的になった現代であっても、ベストプラクティスと呼べる形は多くの企業でまだ模索中の段階です。多くの企業で発生する課題について、直接的に解決する手段が必要であると、パナソニック デジタルでは考えます。

その答えとなるエンタープライズサーチが、



Neuron ESは、既存のストレージ環境に大きな変更を加えることなく、高機能な検索機能をアタッチするイメージで利用可能です。10TB程度のファイルサーバであれば1ヶ月前後で導入可能、**導入前に試用可能な無償版**もご提供しています。

[製品ページはこちら](#)



必要な情報を即座に見つけられる**効果を実感してからクイックに導入**でき、多くの企業様からご評価いただいております。
下記のメールアドレスからお気軽にお問い合わせください。

ご連絡先



<https://service.digital.panasonic.co.jp/contact>
パナソニック デジタル株式会社

Panasonic